

県章

周囲は富士山と武田菱でうるわしい郷土を象徴しており、中の県は3つの人文字で山梨の山を形どり和と協力を表現しています。
(昭和41年10月1日告示)



県旗

優雅なぶどう色を地に用い、中の県は県民の和と協力、周りの富士山は清廉、潔白、純粋性を表しています。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の無限の向上を願ったものです。
(昭和41年12月1日告示)



県の花【フジザクラ】

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩ります。木はあまり大きくならず、花びらも小型で下向き加減に開きます。きびしい富士の風雪に耐えて、つつましくやかに咲く花は、「和と忍耐」を表しています。
(昭和29年制定)



県の鳥【ウグイス】

春を告げる鳥として、昔からみんなに愛され親しまれています。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるというやさしい習慣をもっています。このことから、「明朗と慈愛」を表しています。
(昭和39年6月制定)



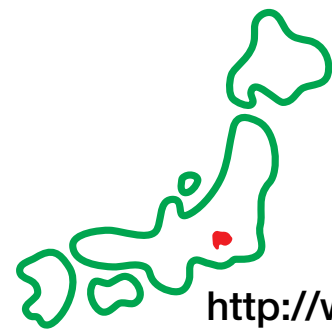
県の獣【カモシカ】

日本特産の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ヶ峠などの山岳地帯に生息します。高山のきびしい自然に耐えて生きていることから「忍耐・努力」を表しています。
(昭和39年6月制定)



県の木【カエデ】

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉します。本県の山などを美しく彩るそのさまは、「山々の男ぶり見よ甲斐の秋(虚子)」などと詠まれています。
(昭和41年9月制定)



【山梨県】県名の由来

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国は、明治4年11月、廃藩置県で「山梨郡」から「山梨県」となりました。「やまなし」の由来は、くだもののヤマナシがたくさんとれたから、山をならして平地にした「山ならし」からきているなどたくさんの説があります。

<http://www.pref.yamanashi.jp/>

平成22年3月発行 編集・発行：山梨県広聴広報課
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 ☎055-223-1339



印刷：(株)サンニチ印刷

この印刷物は環境にやさしい再生紙・植物性大豆油インキを使用しています。